

# 次期年金見える化Webサイト

## シミュレーション機能追加におけるデザインコンセプト

2025年7月30日

株式会社 日立製作所



# 1.はじめに

1-1.本改修の目的の整理

1-2.分析手法

## 1-1.本改修の目的の整理

各シミュレーションにおける意図やユーザーへの訴求内容を整理し、設計思想の共有を図る

現状の  
公的年金シミュレーター



公的年金

老齢年金

次期の  
公的年金シミュレーター



公的年金

老齢年金



公的年金

障害年金



私的年金

iDeCo

個人型確定拠出年金

機能追加

- 現行シミュレーターの対象は「老齢年金」のみ
- 老齢年金は年齢と加入期間に基づいてシミュレーション可能であり、**比較的**理解しやすい制度
- 受給額を試算するにあたり、**シンプル**な操作性(入力項目数等)の提供が可能
- 今回の改修により「老齢年金」に加え、「障害年金」と「iDeCo」のシミュレーション機能を追加
- 「障害年金」は障害の等級や初診日など、**「老齢年金」に比べて制度が複雑**
- 機能の増加に伴い各機能に対するニーズを理解、整理することが必要
- **賦課方式である公的年金**と、**積立方式であるiDeCo**の両方を同じシミュレーターで扱うことから、表現の検討、及び位置づけの定義は必要

## 1-2.分析手法

改修の方針(デザインコンセプト)の定義に向け、現行シミュレーション機能（老齢年金）の課題抽出、及び次期シミュレーション機能（障害年金・iDeCo）のニーズや訴求方針を整理するために、以下の手法を用い現状の把握と分析を実施しました。

定性



### ①ユーザーインタビュー(5名)

ユーザーのニーズ・課題・行動の背景を深く理解  
定量調査から導かれる仮説を検証  
オフラインデプスインタビュー手法にて実施



### ②有識者インタビュー(18名)

年金広報検討会に関わる有識者・  
ステークスホルダーに対してインタビューを実施  
視点の補完や戦略的示唆について確認



### ③デスクトップリサーチ

「年金」に関する検索ワードや世論調査  
結果などから、国民のニーズや理解度、意識等  
についての傾向を分析



### ④会場調査(CLT)(321名)

現シミュレーションの操作性を定量的に評価  
また新シミュレーションの分かりやすさについて  
属性ごとの偏差について分析

定量



## 2.デザインコンセプト

2-1.初期構築時のデザインコンセプト

2-2.各試算機能のポジショニングの定義

2-3.老齢年金

2-4.障害年金

2-5.iDeCo

# 2-1.“初期”構築時のデザインコンセプト（各シミュレーション共通の基本コンセプト）

以下の考えは初期構築から継続する基本的な考え方となります。  
本調達において、各シミュレーション機能の検討にあたり、ベースとなる共通的な指針となります。

### ①「パツと試算」を実現する“シンプル”な構成

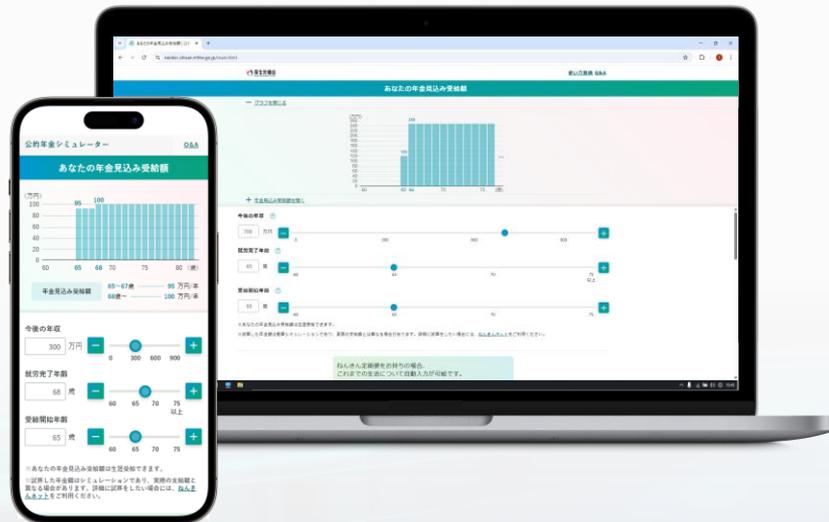
今回の改修において、シミュレーション機能を追加するにあたり、コアな特徴である“シンプルな操作感”は踏襲し、ユーザーの迷いがない画面設計を目指します。

### ②仕組みや制度の周知に向けた“分かりやすい”表現

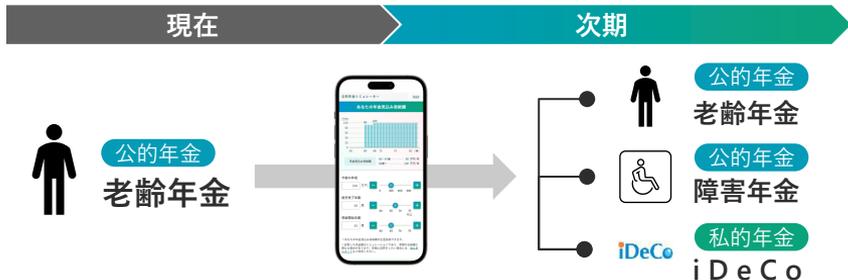
本ツールの目的である「年金の仕組みを国民に正しく、分かりやすく周知」に向け、仕組みや制度についても理解が深めることができるよう、ヘルプやガイドの見直し、充実を図ります。

### ③予見可能性の向上のための個々人の“見える化”の実現

個々人のパラメータに基づき“見える化”することは本シミュレーションツールの本質であり、「シミュレーション」をキーワードに訪れるユーザーの期待値でもありと考えております。  
ユーザーニーズを確実に反映したシミュレーションの結果表示を検討します。



## 2-2.各試算機能のポジショニングの整理



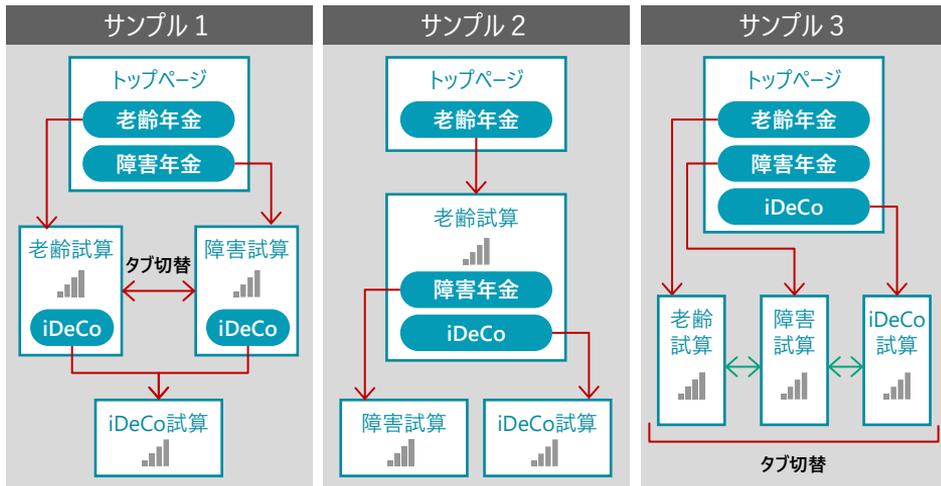
### 各試算機能のポジショニングの整理の目的

本改修において「障害年金」「iDeCo」の試算機能を追加します。  
各試算機能の位置づけを整理し、ユーザーに受け入れられる「公的年金シミュレーター」を検討します。

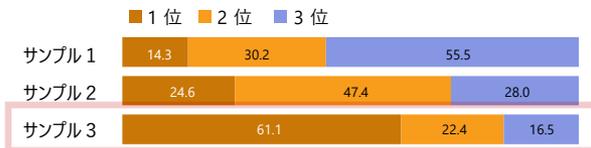
### 有識者による位置づけの見解の整理

- ・ 広報目的であれば各試算機能を並列に並べても良いかと考えるが、将来を検討することを目的であれば老齢年金を試算して、その後に障害、iDeCoでよい。
- ・ 公的年金と私的年金のiDeCoが並列の扱いは違和感がある。
- ・ 画面遷移やデザイン等で優劣をつけると良い。
- ・ 「障害年金」への関与が高い利用者であれば、老齢年金より障害年金の試算を行いたい

### 画面遷移に対する分析内容



どの画面推移サンプルが試算結果を理解しやすいですか



⇒サンプル3が高評価

会場調査の結果、トップページから直接遷移できるという点でサンプル3に評価が集まりました。公的年金のシミュレーションにおいても「iDeCo」に対する直接的なニーズを確認できました。

## 2-2.各試算のポジショニングの整理

### 「老齢年金」を主軸とし、「障害年金」を含む「**公的年金**」のシミュレーション 付加機能(オプション)として「iDeCo」のシミュレーション機能

#### 公的年金



#### メインコンテンツ

- 受給者数が最も多い年金制度
- 老後のライフプランを考える際の土台となる位置づけ



#### 障害年金

#### サブコンテンツ

- 誰しも受給可能性がある制度
- 将来のリスクに際した選択肢としての周知
- 公的年金の一つであり、社会全体で支える仕組みを体現する重要な制度



#### 私的年金



#### iDeCo

個人型確定拠出年金

#### オプション

- 私的年金は公的年金と前提から大きく異なり、扱いを明確に分ける
- 公的年金に上乘せできる制度としての周知
- 公的年金と合わせて予見可能性を高める

## 現行の公的年金シミュレーター（老齢年金）に対する分析内容

「年収」「働き方・暮らし方」「期間」の情報欄入力について、理解できましたか。



⇒「情報欄の入力」操作については7割は「理解できる」と回答

公的年金シミュレーターと今まで利用したことがあるシミュレーターと比較して、近いものをお選びください。



⇒他シミュレーターに比べて「分かりやすさ」「操作のしやすさ」は評価

<入力の理解しにくかった点(自由記述)>

- なんの期間のことか理解できなかった。ヘルプの内容を見ても理解出来ない
- 期間としが書かれていなかったで、もう少し具体的な言葉が欲しかった。
- 年収について、22歳から65歳までのいつの金額を書けばいいのかわからなかった

⇒入力項目の曖昧な表現による理解不足

- 年収は平均なのか、最大、最小なのか、試算時時点のものが不明、今の年収を入力できない
- 1,000万円超えはなぜ無理なのか
- 期間が重複していて、記入できなかった

⇒仕様理解不足に伴う入力の難しさ

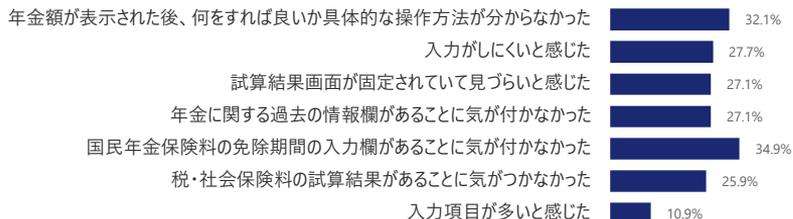
## 公的年金のシミュレーターとして一定評価

有識者やユーザーへのインタビューにおいても同様の意見を得ており、分析内容を追認できている結果となりました。このことから、今のシンプルな構成、既存コンセプトを踏襲しつつ、項目名称やユーザビリティの課題解決を行います。

## 現行の公的年金シミュレーター（老齡年金）に対する分析内容

公的年金シミュレーターを利用した際に感じた点について、

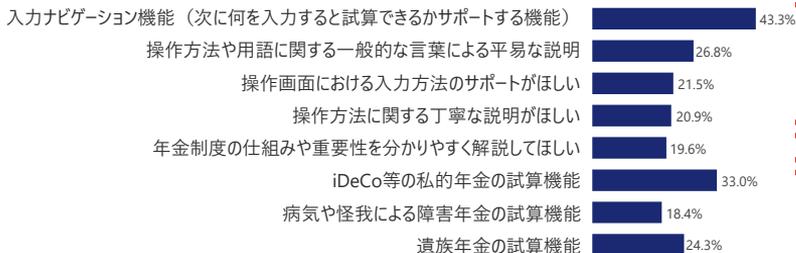
当てはまる項目をすべて選択ください。



入力操作のユーザビリティに関わる問題

結果画面内の「情報量の多さ」に起因する「気づき」の問題

今後追加してほしい機能や情報があればお選びください。



入力サポートへの期待

制度理解に対する欲求

年金試算拡充への期待

### 結果表示画面のユーザビリティの見直し

（特にWebからアクセスした際の）結果画面において、「何をすればよいのか分からない」という操作の迷いや試算結果領域の固定による操作のしにくさが問題として挙がっていました。

また情報量に起因する問題も複数挙がっており、結果画面の情報量の精査、及び情報構成を中心にユーザビリティを検討します。

現行の機能をベースとした

# 既存コンセプトの更なる洗練

## ① 情報構成(IA)の見直しによるユーザー負荷の軽減

- 一連操作の段階分けによる画面遷移の見直し →
- 各画面の目的の明確化
- 画面内の情報量の適正化

## ② 制度・仕組み理解の深化

- 年金に対して十分な知識がないユーザーが理解できるような“分かりやすい”文言の採用
- 制度理解を促すようなヘルプ・ガイダンスの見直し
- 老齢基礎年金・老齢厚生年金を区別した表現による理解の促進

## ③ 操作性の向上

- 入力領域の確保
- 試算結果表示のスクロール追従解消による見易さ向上

## 入力操作を3つに段階分け

①  
入力

### 必須入力値

- シミュレーションするために最低限入力する必要のある項目
- 生年月日
  - 加入中の年金の種類
  - 年収

②  
結果  
確認

### シミュレーション値

- 試算結果とリアルタイムで連動し、気づきを与える項目
- 年収
  - 就労完了年齢
  - 受給開始年齢

③  
条件  
追加  
変更

### 詳細入力値

- 試算精度を上げるためのより詳細な項目
- 働き方・暮らし方
  - 免除期間の入力



## ② 制度・仕組み理解の深化（項目やガイダンスの見直しによる制度理解の深化）

## 現行シミュレーション

## 難解な言葉遣い、不十分なヘルプ

今後の年収 ?

650 万円

就労完了年齢 ?

65 歳

受給開始年齢 ?

65 歳

## 現行の問題点①

入力項目の表記が曖昧（いつの時点のことか分かりづらい）ため入力に迷う

二次元コードを読み込んだ場合は、ご自身の年齢以降の働き方・暮らし方を入力してください。また、期間の重複がないようご注意ください。詳しくはQ&Aをご参照ください。

## 現行の問題点②

入力に困った際の補足する情報として十分ではない

## 改善案

## ユーザー目線の表現・迷った際に役立つヘルプ

今後の平均年収 ?

300 万円

退職する年齢 ?

60 歳

年金を受け取り始める年齢 ?

65 歳

ご自身の生まれた年と月をご入力ください。日付をご入力いただくと、より試算の精度が上がります。  
Q&A 最初に生年月日を入力する必要があるのはなぜですか？

生年月 ?

日の入力は任意です

2000 年 1 月 日

## 改善案①

「いつの情報か」が分かるような具体的な表現とすることで入力時の迷いを解消

※ユーザーテスト(β版)にて効果検証を予定

## 改善案②

入力操作のヘルプ内容はユーザーが入力に迷った際に助け（判断できる）となる情報を掲載

- 言葉の意味（制度や仕様等）
- 試算への影響など補足情報
- 詳細情報へのリンク（Q&A、使い方動画等）

## ② 制度・仕組み理解の深化（シミュレーション精度の向上）

現行シミュレーション

シンプルなグラフ表現



「老齢基礎年金」と「老齢厚生年金」を分けて、「受給額」のみにフォーカスされたグラフ表現

改善案

「老齢基礎年金」と「老齢厚生年金」の明示による制度理解の深化



年齢ごとの受給額一覧 閉じる

65～66歳	基礎 999 + 厚生 999 = 115万円/年
67～69歳	基礎 999 + 厚生 999 = 100万円/年
70歳～	基礎 999 + 厚生 999 = 140万円/年

改善案

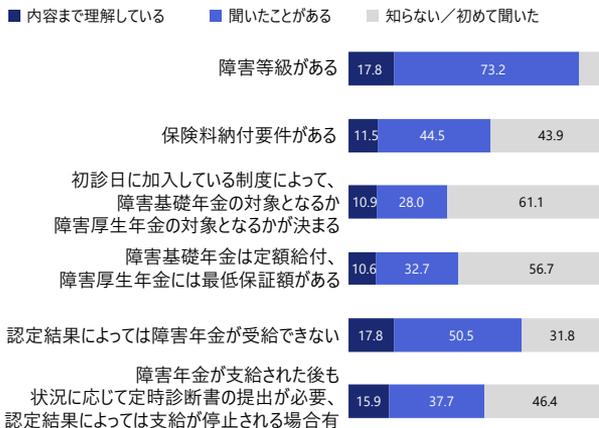
年金制度の理解促進に向け、「老齢基礎年金」と「老齢厚生年金」を分けて明示。

ユーザーに対して年金制度の理解を深め、結果に対して分かりやすさを向上

※ユーザーテスト(β版)にて効果検証を予定

## 障害年金に対する分析

障害年金制度について、以下の概要項目毎にどの程度知っているかお答えください。



⇒ 制度の内容迄理解している層は少ない

障害年金の試算機能を追加した場合、どのような情報を知りたいですか。



⇒ 「受給要件」「受給額」への期待値が高い

## 有識者インタビュー内容

- ターゲットはライフプランを考えている方やこれから各種申請をしようとしている方
- ユーザは年単位で年金額がどうなるのかを気にしている方がほとんど。障害年金受給を考えている方は年金事務所に案内した方が良い
- 永遠にもらえるわけではない、いくらもらえて、子供がいると加算されるくらいを伝えられれば良いのではない
- 日本年金機構の認定が話題になっているが、いくらもらえるかより自分がもらえるかどうかの方が気になっていると考える

⇒ 誤認誤解をさせないこと、シンプルに伝えることが重要

将来のリスクに備え

### “基本的な”制度に対する理解の促進

#### ① “基本的な”制度への理解

- 障害基礎年金、障害厚生年金の受給要件があることの理解促進
- 障害年金の受給額に影響のある内容の理解  
# 初診日、障害等級、配偶者の有無、子ども人数等

#### ② 誤解・誤認をさせないシミュレーション機能

- 受給は一生涯ではないことへの理解
- 病気やケガをしてから即受給ができるわけではないことへの理解
- 俯瞰したシミュレーションによる全体像の把握

# 2-4.障害年金 障害年金

## ① “基本的な”制度への理解



### 受給額に影響する内容の理解

入力項目を通して制度の理解を促進。項目は基本的な要素とし、制度の概要理解を促します。

「子供の人数」のように、条件によって受給額に影響する場合は適宜ヘルプ等で補足します。

#### 配偶者の有無 ?

配偶者なし

配偶者あり

#### 子どもの人数 ?

0 人

#### 障害年金の受給要件を確認

お様が以下条件に当てはまる場合には、「子の加算額」が障害年金の受給額に加算されますので、対象となるお子様の人数を入力してください。

- ・ 18歳になった後の最初の3月31日までの子
- ・ 20歳未満で障害等級1級または2級の状態にある子

受給者本人の障害等級が3級の場合は、子の加算はされません。

#### 子どもの人数 ?

0 人

### 障害年金の受給要件

**障害年金の受給要件**

障害年金には「障害基礎年金」と「障害厚生年金」の2種類があります。

**障害基礎年金**

初診日(病気やけがで初診の日)が初診の日を要するときに障害年金に加入している場合に請求できます。

**障害厚生年金**

初診日(病気やけがで初診の日)が初診の日を要するときに障害年金に加入している場合に請求できます。

障害年金を受け取るには、それぞれ以下の条件が設けられています。

**障害基礎年金の受給要件**

障害基礎年金は、以下の4つの条件をすべて満たす方が受給できることになります。

**要件1**

初診日(病気やけがで初診の日)が以下いずれかに該当している

- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった
- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある
- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある

**要件2**

初診日から1年6か月経過している

- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある
- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある

**要件3**

初診日から1年6か月経過している

- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある
- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある

**要件4**

初診日から1年6か月経過している

- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある
- ・ 初診日 国民年金の被保険者であった期間が3分の2以上ある

### 受給要件の詳細な内容提示

障害年金のシミュレーション機能を追加した際に知りたい内容として「受給の条件」が挙げられており(69.5%)、利用者(特に20~30代)にとってニーズの高い情報となっています。モーダルウィンドウにて詳細な受給要件の内容を提示することにより、受給要件に対する理解を促します。

②誤解・誤認をさせないシミュレーション機能

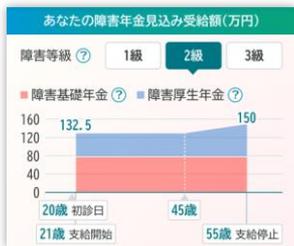
サンプル①

障害年金の各種イベントの  
容易な把握



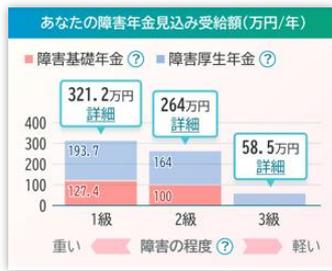
サンプル②

障害年金の受給期間の  
流れを意識



サンプル③

障害等級ごとの金額差や  
年金の種類を意識

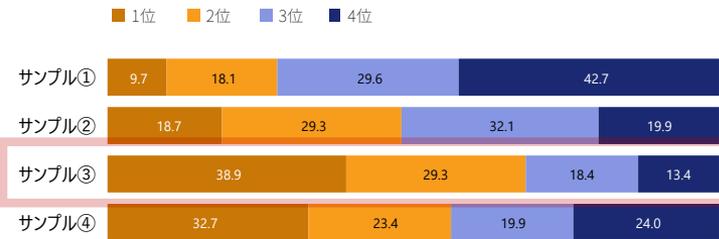


サンプル④

年齢ごとの障害年金受給額が  
一目で分かる一覧表示

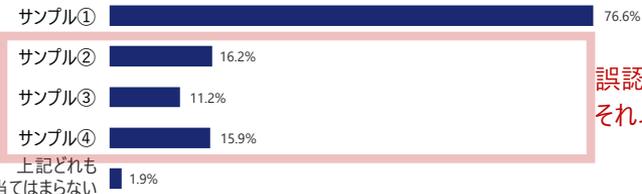


どの画面サンプルが障害年金の試算結果を理解しやすいか順位をつけてください。



障害年金に対する  
理解度が十分ではない  
層の評価が高い

障害年金が一生もらえるように見えるサンプルはどれですか。



誤認リスクはサンプル①が突出して高く、  
それ以外（特にサンプル③）は低い

「理解しやすさ」「誤認リスク」の観点からサンプル③に評価

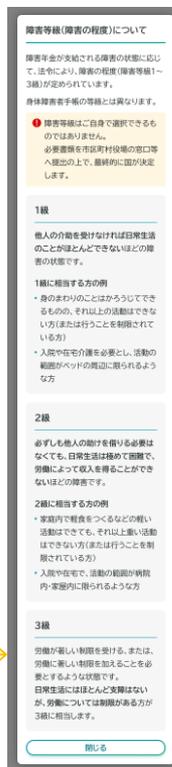
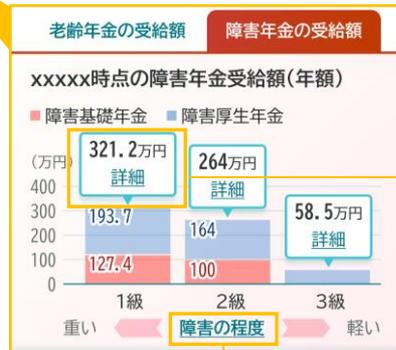
会場調査の結果からサンプル③に対し「障害等級ごとの差が意識しやすい」という評価が得られました。有識者・ユーザーインタビューにおいても「分かりやすさ」の観点からサンプル③への意見があり、結果を追認でき、サンプル③にて検討を進めます。

## ② 誤解・誤認をさせないシミュレーション機能



## 俯瞰したシミュレーションによる全体像の把握

障害等級という基準によって受給額が異なること、受給額には「基礎」と「厚生」の種別があること等の制度と受給額との関係を直感的に伝えます。



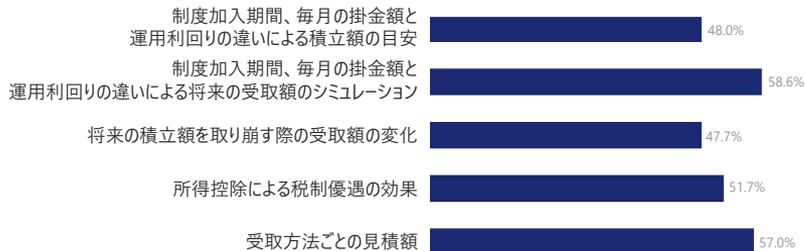
## 受給額の詳細な構成と、障害等級についての詳細情報の提示

試算結果画面で提示した要素をモーダルウィンドウ表示でより詳細に確認できます。

受給額の内訳表示では配偶者や子供の有無が受給額に与える影響を、障害等級の詳細表示では等級それぞれに該当する条件を把握できます。

## iDeCoに対する分析結果

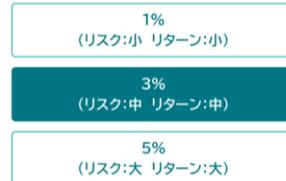
iDeCoの試算機能を追加した場合、どのような情報を知りたいですか。



⇒ユーザーは積立(運用)、取り崩し(受給)どちらにも高い関心を示す

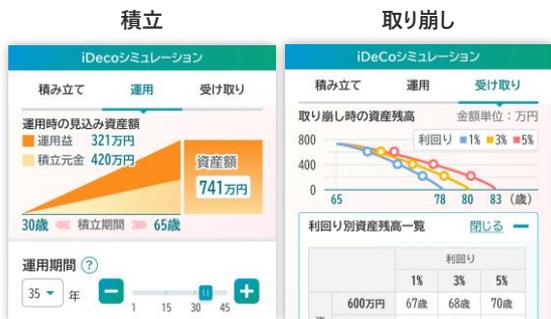
運用利回りの選択と誤認リスク(ユーザーインタビュー)

運用利回り ⑦



- 利回りの選択(1/3/5%)には違和感はない
- iDeCoへの理解が十分ではない層からは「信頼できる印象を受けた」「(1%はこの通りもらえると思った)との感想有
- 利回りを選択することで誤認誤解に誘導する可能性有  
直接入力か、選択方式かは検討要

⇒利回りは国が利益を保証するイメージを持たれる可能性有 (誤解させない施策要)



確認したい内容は表示されていますか

表示されている  
90%以上

グラフの表記は見やすいですか

表示されている  
85%以上

誤認する内容はありますか

誤認したものは無い  
90%以上

⇒積立、及び取り崩しのシミュレーション結果(グラフ)に関しては内容、見易さ、誤認のリスクの観点から一定の評価

## 老後の試算形成の検討に向けた“きっかけ”の提供

### ① iDeCoの基本的な仕組みの理解

- 積立方式であり、受け取り方の選択ができることへの理解
- 自身の責任の範囲で運用する必要（リスク）があることへの理解  
# 国が利益を保証するものではない
- 積み立て→運用→受け取りの3ステップがあるなど、iDeCoの基本的な構造を周知

### ② シンプルかつ容易なシミュレーション

- シミュレーション結果はiDeCo制度の基本的なしくみ理解に必要な要素のみを表示・説明
- 積み立て(運用)と取り崩し(受給)の双方の観点から試算の実現
- iDeCoの知識が高くなくても試算可能な要素に限定

## ① iDeCoの基本的な仕組みの理解

## 制度理解を促す補足の表示

掛金の限度額に働き方が関係することなど、iDeCoの基本的なしくみについての補足を表示し、入力項目を通して制度理解を促進します。

## 毎月の掛金額 ?

限度額は、**会社員**の場合  
5,000円～23,000円/月です。

5,000 円

## 運用に関するリスクの明記

ユーザーインタビューにおいて、補足説明がない状態で「利回りが保証される印象を受けた」という意見が挙がりました。公的年金にはない利回りなどの項目に対して適切な補足説明を表示することにより、誤認誤解を回避します。

## 運用利回り ?

1%  
(リスク:小 リターン:小)

3%  
(リスク:中 リターン:中)

5%  
(リスク:大 リターン:大)

利回りの値は利益を保証するものでなく、元本を下回るリスクがあります。運用利回りの選択肢は参考値であり、実際には運用する金融商品の成績に基づく値となります。

## ② シンプルかつ容易なシミュレーション

## タブ切替による情報制御

会場調査の結果、「積立・運用」と「受け取り」双方にニーズがあることが分かりました。

「積み立て・運用」と「受け取り」を表示し、両方の観点からシミュレーションできる結果表示をご提案します。

またタブでの切り替え操作により過密な情報表示を避け、段階ごとにシンプルで見やすい画面とします。

## 積み立て・運用タブ



## タブ切替



iDeCoで拠出した毎月の掛金は、全額所得控除の対象となります。また、運用益に対する課税はありません。  
試算した金額は概算シミュレーションであり、実際とは異なる場合があります。

## 制度理解を促す補足の表示1

会場調査でも関心の高かった税や控除に関する補足を表示し、制度理解を促進します。

## 受け取りタブ

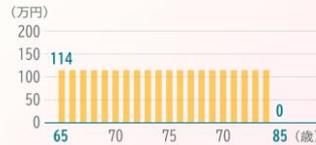


## 積み立て・運用

## 受け取り

## 受け取れる金額

## 資産の減り方



iDeCoで積み立てた資産を受け取り始める年齢を入力してください。受け取り開始年齢は、原則60歳から75歳までの間で選択します。

## 受け取り開始年齢



## 制度理解を促す補足の表示2

iDeCoの資産受け取りに年齢の制限がある旨をヘルプに表示し、制度理解を促進します。

## ② シンプルかつ容易なシミュレーション

セグメントコントロールによる  
取り崩し・棒グラフの切替表示

受け取り段階のグラフについて、  
会場調査で評価がほぼ同等となった  
2案両方を表示切替という形で  
採用した案となります。

「受け取り」タブの中に、「セグメント  
コントロール」と言われる切り替えUIを  
用い、受給金額と取り崩しの情報を  
切り替えて表示することができます。

(会場調査)  
受給金額と取り崩しではどちらが見やすいですか。

取り崩しグラフ 46.1%

受給金額グラフ 48.6%

どちらも  
当てはまらない 5.3%

## 受け取れる金額(受給金額)



切替

## 資産の減り方(取り崩し)



年齢・利回り別の資産残高一覧

年齢	資産残高 (利回り別)		
	1%	3%	5%
64歳	2280	2280	2280
65歳	9999	9999	9999
66歳	9999	9999	9999
67歳	9999	9999	9999
68歳	9999	9999	9999
69歳	9999	9999	9999
70歳	9999	9999	9999
71歳	9999	9999	9999
72歳	9999	9999	9999
73歳	9999	9999	9999
74歳	9999	9999	9999
75歳	9999	9999	9999
76歳	9999	9999	9999
77歳	9999	9999	9999
78歳	9999	9999	9999
79歳	9999	9999	9999
80歳	9999	9999	9999
81歳	9999	9999	9999
82歳	9999	9999	9999
83歳	9999	9999	9999
84歳	0	0	0

利回り別の受給額(有償)

1%	999万円
3%	999万円
5%	999万円

